

微生物標本館への2011年度分の標本追加

Additional Specimens to Microorganism Museum in 2011

小板橋基夫*, 吉田重信*, 對馬誠也**

Motoo Koitabashi, Shigenobu Yoshida, Seiya Tsushima

1. 微生物標本館とは

農業環境技術研究所・農業環境インベントリーセンターで管理する微生物標本館には、多くの研究者から寄託された微生物タイプ標本に NIAESH 番号を付けて保管されている。さらに、1880 年代から現在に至るまで約 130 年間以上にわたり寄贈・採集された微生物乾燥標本、微生物乾燥さく葉標本等約 7,300 点を、標本室内で安定的に保管している。また、農林水産省微生物ジーンバンク事業の一環として、細菌および糸状菌の凍結乾燥アンブル、凍結チューブ、継代培養試験管など合わせて約 4,000 点を低温室において保存している。その収集は現在も続いており、2011 年度に新たに収蔵した標本等について紹介する。

2. 標本館情報への標本追加

2011 年度には、北海道で発生したダイズ病害 (root-rot) から分離された、新種の病原菌 *Fusarium azukicola* sp. nov の菌体標本に NIAESH 番号を割り振り、タイプ標本コレクションに追加した (図 1)。この菌については、Aoki ら (2012) によりアメリカ菌学会誌の *Mycologia* の第 104 巻に原著論文として発表された。

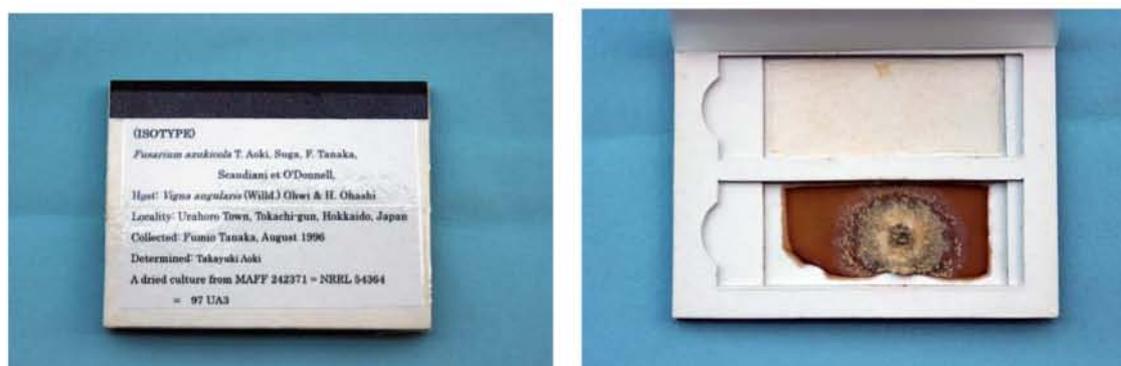


図 1. 2011 年度に寄託されたタイプ標本の保存状況

(左 : 標本のラベル記載 右 : *F. azukicola* sp. nov. の菌体標本)

これまでに微生物標本館に所蔵されているの微生物標本情報を DB 化し、Web 公開中の微生物インベントリー「*microForce*」にデータ追加等を行ってきたが、今回寄託された標本のデータを DB に追加した。

*生物生態機能研究領域, **農業環境インベントリーセンター

*Environmental Biofunction Division, **Natural Resources Inventory Center

インベントリー, 第 11 号, p74-75 (2013)

3. ジーンバンク登録菌株の標本化

農業環境インベントリーセンターでは、農林水産省のジーンバンク事業のサブバンクとして微生物遺伝資源の探索収集、評価、保存、配布等の活動を行っている。2011年はMAFF306798～306840までの43菌株を登録した。それらMAFF菌株の中からMAFF306089、306824、306834、306838～306840の6菌株の植物病原菌の培養菌体の乾燥標本を作成した。MAFF306089は和歌山県南部川町のカンキツ（甘夏）から採集された灰色かび病菌（*Botrytis cinerea*）、MAFF306824と306843はタマネギ灰色腐敗病菌（*Botrytis allii*）で、それぞれ兵庫県南あわじ市と佐賀県福富町から採集された。MAFF306838～306840の3菌株はピラカンサ黒星病菌（*Venturia inaequalis*）で、いずれも神奈川県二宮町で採集された。各菌株の詳細は以下に示す農業生物資源研究所ジーンバンク事業のデータベースの微生物遺伝資源部門に登録され、以下のサイトから検索を行える。

URL <http://www.gene.affrc.go.jp>

参考文献

- 1) Aoki T, Tanaka F, Suga H, Hyakumachi M, Scandiani MM, O'Donnell K. (2012) *Fusarium azukicola* sp. nov., an exotic azuki bean root-rot pathogen in Hokkaido, Japan. *Mycologia*. 104(5):1068-84.

問い合わせ先

生物生態機能研究領域 小坂橋 基夫
電話：029-838-8355, E-mail:koita@affrc.go.jp